



① 全国小学生ソフトテニス大会で活躍

3月29日(土)～31日(月)、千葉県白子町で開催された「全国小学校ソフトテニス大会」5年女子の部に出場した真室川ソフトテニススポーツ少年団の庄司琴里選手(宮町一)と井上あゆ選手(秋山)は、トーナメントを順調に勝ち進み、4回戦で敗れはしたもののベスト32(第17位)と見事な成績を残しました。

② まざれやでひなまつり体験

3月19日(水)、差首鍋地区生涯学習センターにて、ひなまつりにちなんだ打ち菓子作りとお茶会体験が行われました。お茶会では、裏千家教授の松田洋子さん(本町)より指導をうけ、自作のお菓子と抹茶をいただきました。町内外より寄贈いただいたきらびやかなひな人形に囲まれて、参加者は茶道に込められた思いやりの心と伝統文化を学んでいました。

③ ライオンズクラブ薬物乱用防止キャンペーン

4月14日(月)、真室川駅にて、真室川ライオンズクラブ(須田衛会長)のメンバーが、町内の駐在所のお巡りさんと一緒に、薬物乱用防止のチラシを通学する高校生に配布しました。初めての取り組みでしたが、須田会長は、「未来ある青少年を薬物被害から守っていくため、また機会を見つけて取り組みたい。」と話していました。

また、心の健康づくりボランティア「ほっとハート」も一緒になり、命の大切さを高校生に訴えていました。



消防団新入団員辞令交付式 4月13日(日)



婚活イベント「お泊りde出会いkonnj」 3月21日(金)・22日(土)

再 会

町長コラム

3月には学校の卒業式に出席するので生徒、先生、保護者の喜びの顔、ほっとした顔、不安な顔、悲しみの顔、そして無表情な顔など様々な表情を垣間見ることになる。

ある先生は、「その年で違い、また個人差はあるが、充実した学校生活を過ごすことが出来たかそれが表情に表れるのでは」と言う。そうとも言えるが、中学生は、翌日が入試の発表なので不安な表情は仕方ないと思われる。はつきりしているのは、17年前から比べるとはるかに悲しみの顔より喜びの顔が多くなったと言える。それに対しては様々な考えがあっても良いのではと思う。

4月は学校の入学式である。こちらの顔はほとんどが喜びの顔である。不安そうな顔もあるがそう心配されることではないように思われる。国歌斉唱の時、子どもの顔だけ見るとではなく保護者の皆さんも一緒に歌って共に祝っていただきたい。

4月10日、通学の時、交通安全街頭指導した時子どもたちと再会する。上級生が1年生を優しく見守り通学しているのを見て感激する。

真室川町長 井上 薫